

岐阜県とその周辺の地震活動

(令和5年8月1日～8月31日)

【概況】

今期間、岐阜県内で震度1以上を観測した地震は6回でした。

- ① 12日03時09分 愛知県西部の地震 (M3.9、深さ39km) により、恵那市で震度2を観測したほか、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県で震度2～1を観測しました。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。
- ② 15日01時14分 岐阜県飛騨地方の地震 (M2.2、深さ9km) により、高山市で震度1を観測しました。
- ③ 19日14時07分 福井県嶺北の地震 (M4.3、深さ10km) により、高山市で震度3を観測したほか、東海、甲信越、北陸、近畿地方にかけて震度3～1を観測しました。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生しました。
- ④ 21日00時25分 岐阜県美濃中西部の地震 (M2.8、深さ16km) により、関市、美濃市で震度1を観測しました。
- ⑤ 26日04時24分 岐阜県飛騨地方の地震 (M2.7、深さ4km) により、高山市で震度1を観測しました。
- ⑥ 29日08時09分 富山県東部の地震 (M2.5、深さ0km) により、高山市で震度1を観測しました。

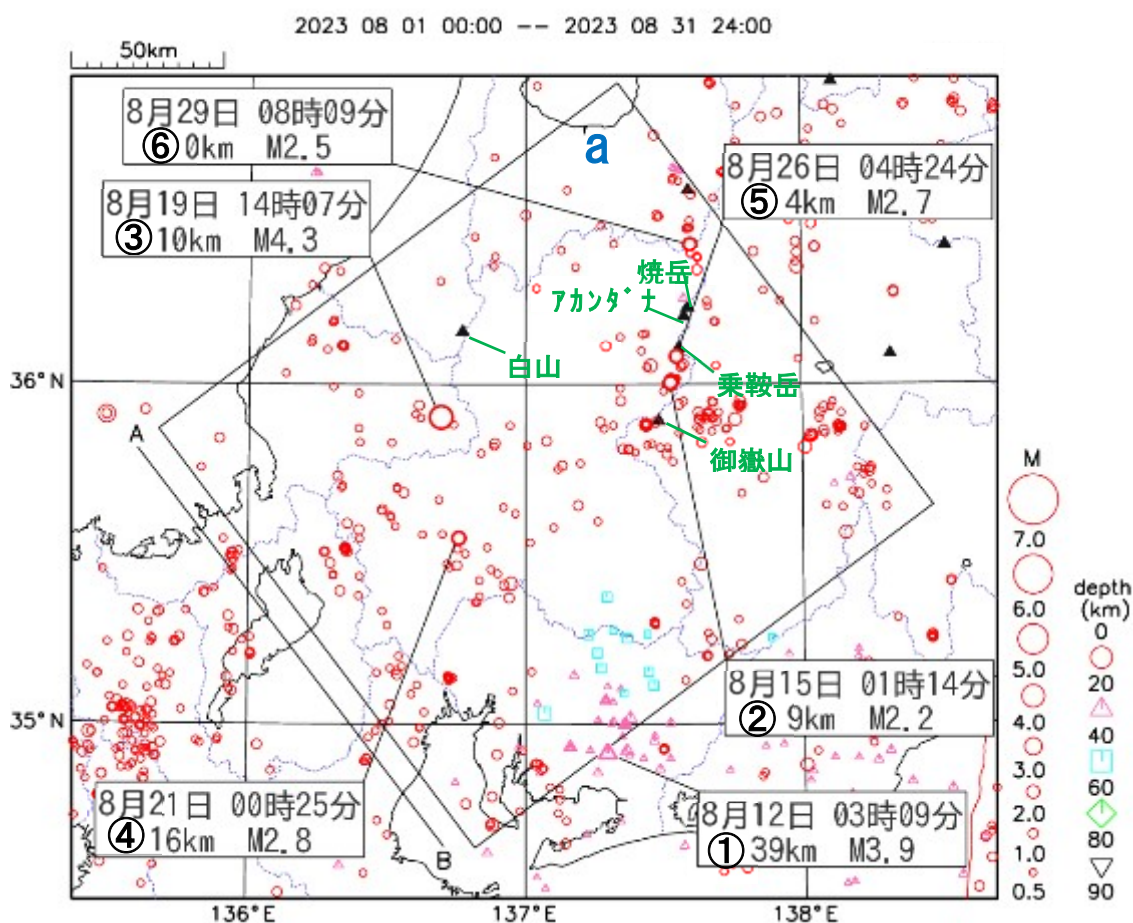
【各地の震度】

第1表 岐阜県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度

	月 日 時 分	震央地域名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
①	08月12日03時09分	愛知県西部	34° 54.8'	137° 17.6'	39km	M3.9
	震度 2 : 恵那市上矢作町* 震度 1 : 多治見市三笠町*, 多治見市笠原町*, 中津川市本町*, 中津川市福岡*, 中津川市山口*, 瑞浪市上平町*, 美濃加茂市太田町, 土岐市泉町*, 富加町滝田*, 八百津町八百津*, 白川町河岐*, 岐阜市加納二之丸, 岐阜市柳津町*, 大垣市墨俣町*, 大垣市丸の内*, 関市若草通り*, 関市洞戸市場*, 美濃市役所*, 羽島市竹鼻町*, 各務原市川島河田町*, 岐南町八剣*, 養老町高田*, 安八町氷取*, 岐阜池田町六之井*, 瑞穂市別府*, 岐阜山県市高富*, 郡上市和良町*, 海津市平田町*					
②	08月15日01時14分	岐阜県飛騨地方	36° 00.3'	137° 31.4'	9km	M2.2
	震度 1 : 高山市高根町*					
③	08月19日14時07分	福井県嶺北	35° 54.2'	136° 41.6'	10km	M4.3
	震度 3 : 高山市荘川町* 震度 2 : 飛騨市河合町元田*, 関市若草通り*, 美濃市役所*, 揖斐川町東杉原*, 揖斐川町東津汲*, 郡上市八幡町島谷, 郡上市八幡町旭*, 郡上市白鳥町長滝*, 郡上市白鳥町白鳥*, 郡上市高鷲町*, 震度 1 : 高山市消防署*, 高山市一之宮町*, 高山市高根町*, 高山市国府町*,					

	高山市上宝町本郷＊, 白川村鳩谷＊, 飛騨市古川町＊, 飛騨市河合町角川＊, 飛騨市宮川町＊, 飛騨市神岡町東町＊, 下呂市金山町＊, 下呂市馬瀬＊, 下呂市萩原町＊, 瑞浪市上平町＊, 恵那市上矢作町＊, 美濃加茂市太田町, 可児市広見＊, 富加町滝田＊, 川辺町中川辺＊, 大垣市墨俣町＊, 大垣市丸の内＊, 関市武芸川町＊, 関市中之保＊, 関市洞戸市場＊, 各務原市川島河田町＊, 岐南町八剣＊, 揖斐川町三輪, 揖斐川町中籠橋＊, 揖斐川町谷汲＊, 揖斐川町西横山＊, 揖斐川町坂内＊, 揖斐川町春日＊, 大野町大野＊, 瑞穂市別府＊, 瑞穂市宮田＊, 岐阜山県市谷合運動場, 岐阜山県市美山支所＊, 岐阜山県市大門＊, 岐阜山県市高富＊, 本巣市文殊＊, 本巣市根尾＊, 本巣市下真桑＊, 郡上市和良町＊, 郡上市明宝＊, 郡上市大和町＊, 郡上市美並町＊					
④	08月21日00時25分	岐阜県美濃中西部	35° 32.8'	136° 45.5'	16km	M2.8
	震度 1 : 関市洞戸市場＊, 美濃市役所＊					
⑤	08月26日04時24分	岐阜県飛騨地方	36° 04.9'	137° 32.7'	4km	M2.7
	震度 1 : 高山市高根町＊					
⑥	08月29日08時09分	富山県東部	36° 24.6'	137° 35.8'	0km	M2.5
	震度 1 : 高山市奥飛騨温泉郷栃尾＊					

* 印がついている観測点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

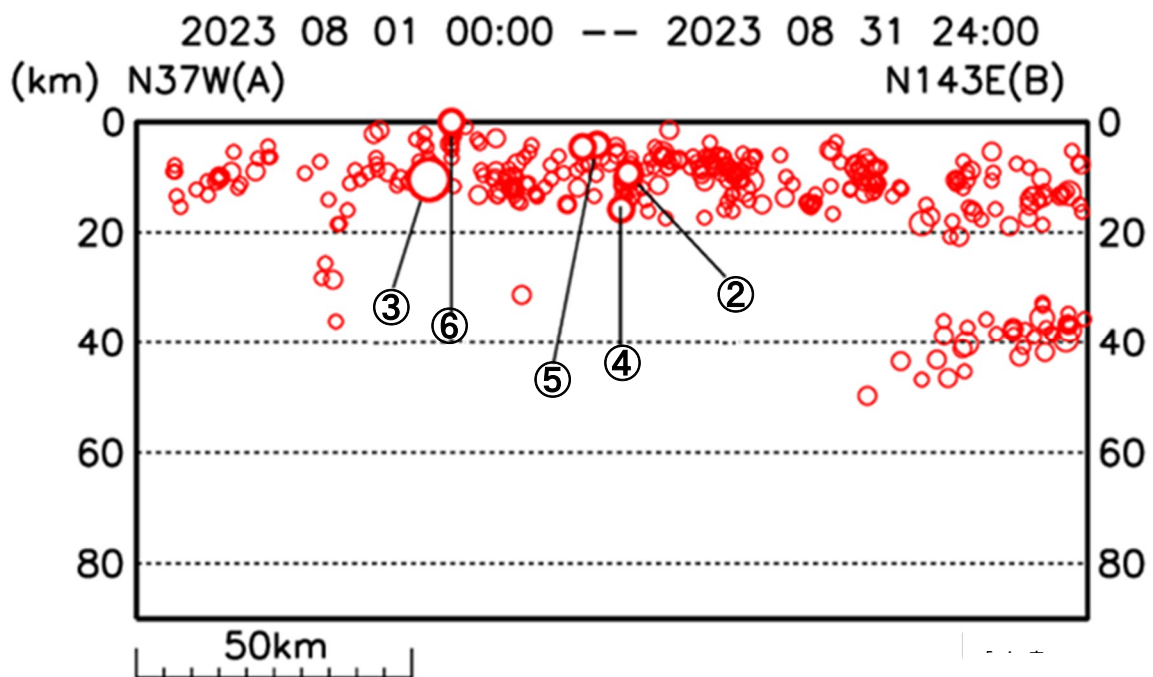


第1図 令和5年8月の岐阜県と周辺地域の震央分布図

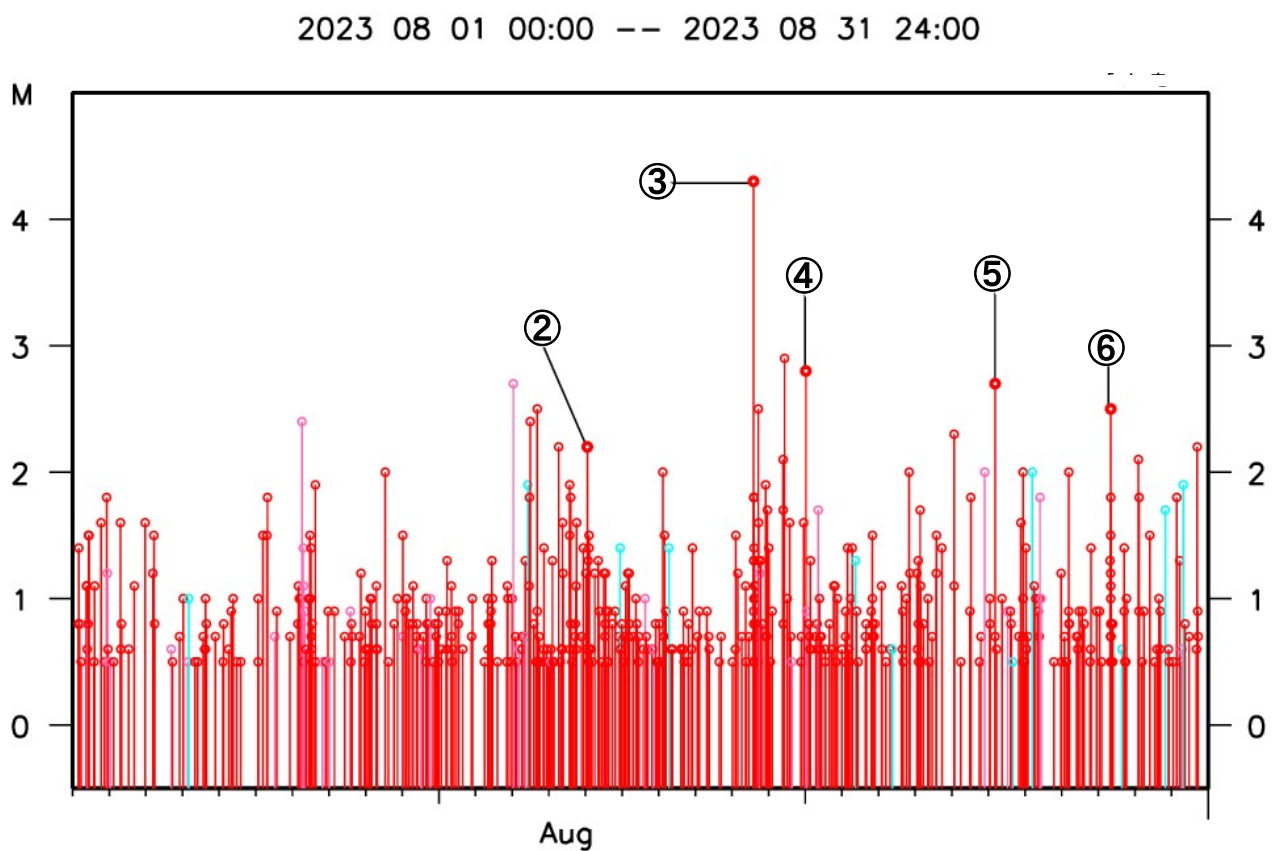
(期間：令和5年8月1日～8月31日，深さ90kmまで，M：0.5以上)

※図中の丸数字は、第1表で示した地震の番号に対応しています。

※図中の ▲ は活火山を示します。



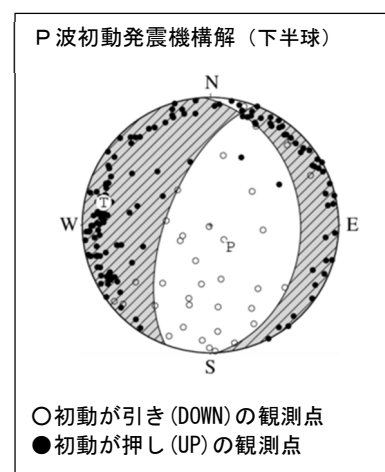
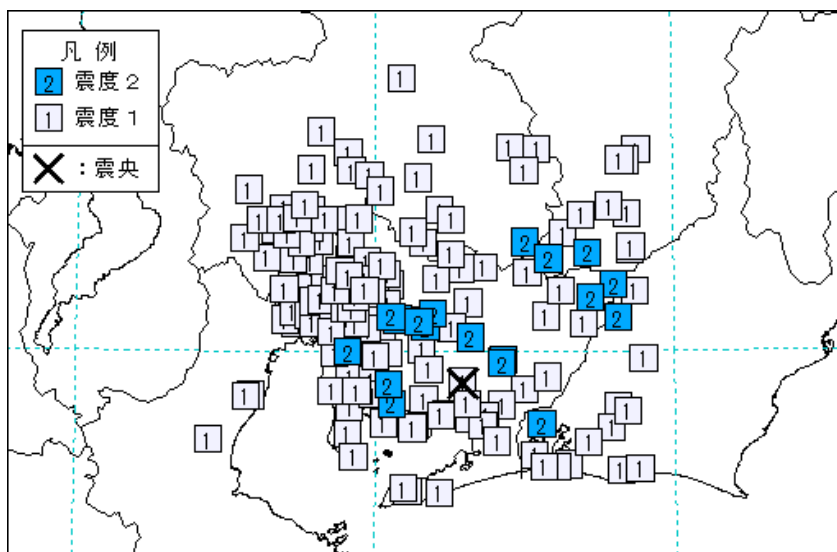
第2図 令和5年8月の第1図領域a内A-B断面図
(期間：令和5年8月1日～8月31日)



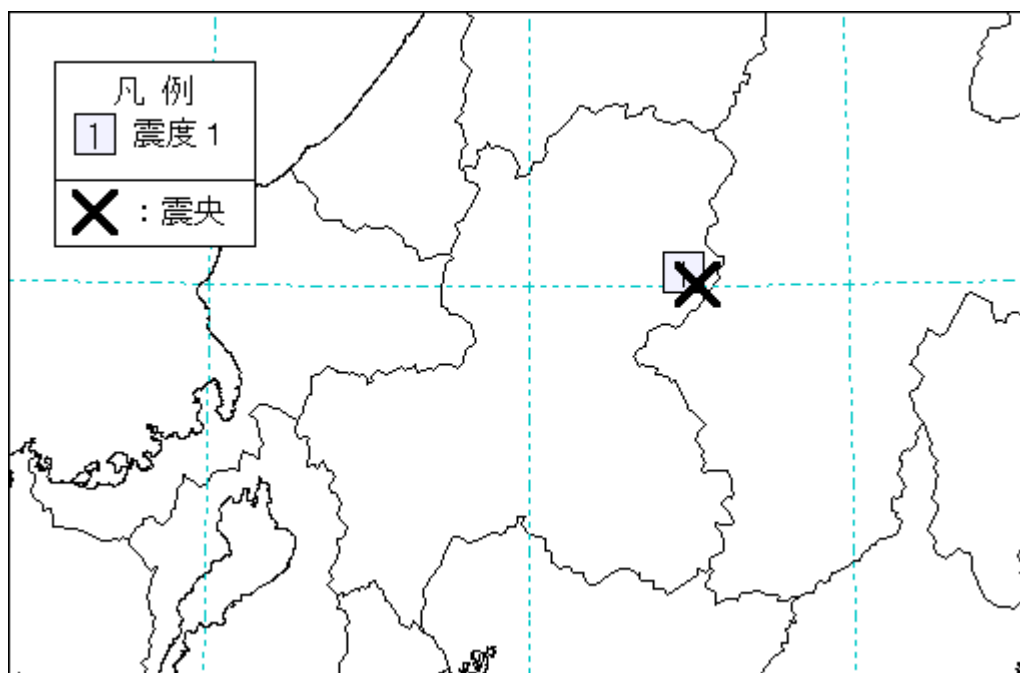
第3図 令和5年8月の地震活動経過図 (第1図領域a内)
(期間：令和5年8月1日～8月31日)

【震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】（×は震央）

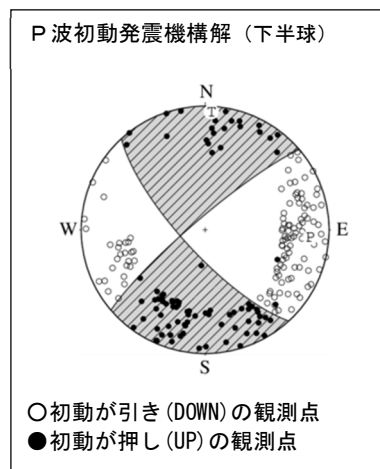
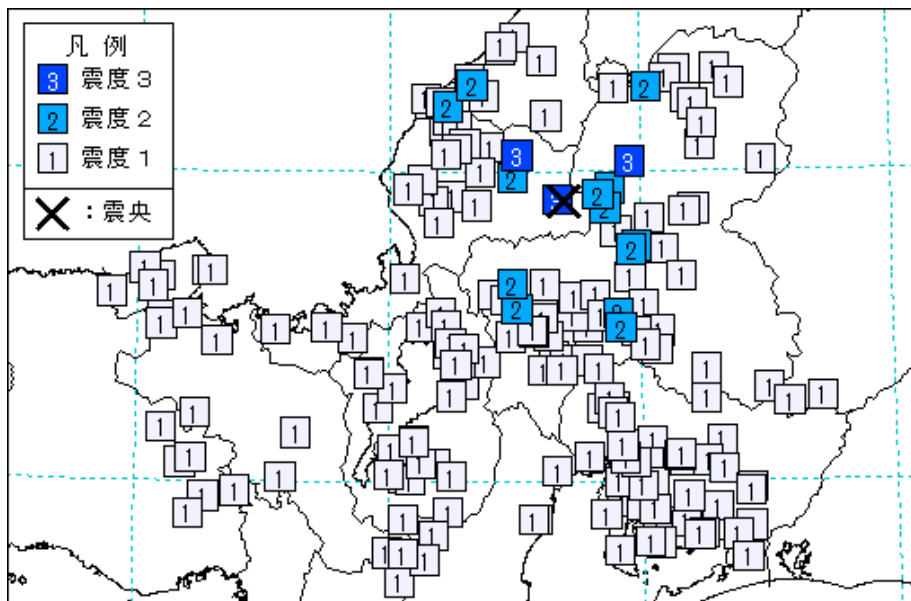
① 12 日 03 時 09 分 愛知県西部の地震(深さ 39km、M3.9)の震度分布図等



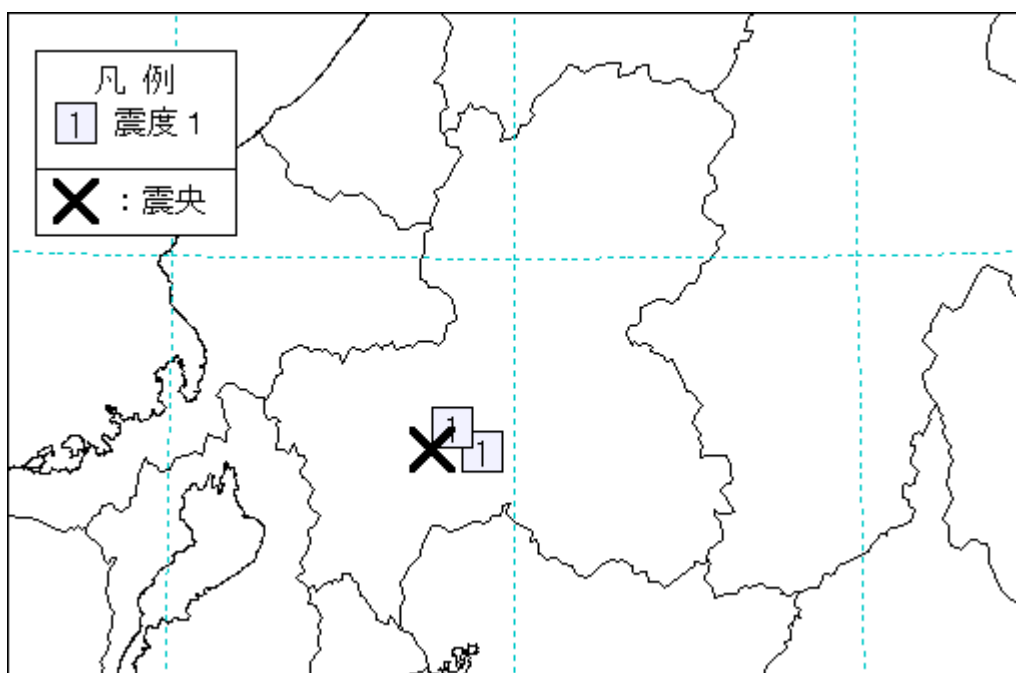
② 15 日 01 時 14 分 岐阜県飛騨地方の地震(深さ 9km、M2.2)の震度分布図



③ 19日 14時 07分 福井県嶺北の地震(深さ 10km、M4.3)の震度分布図等



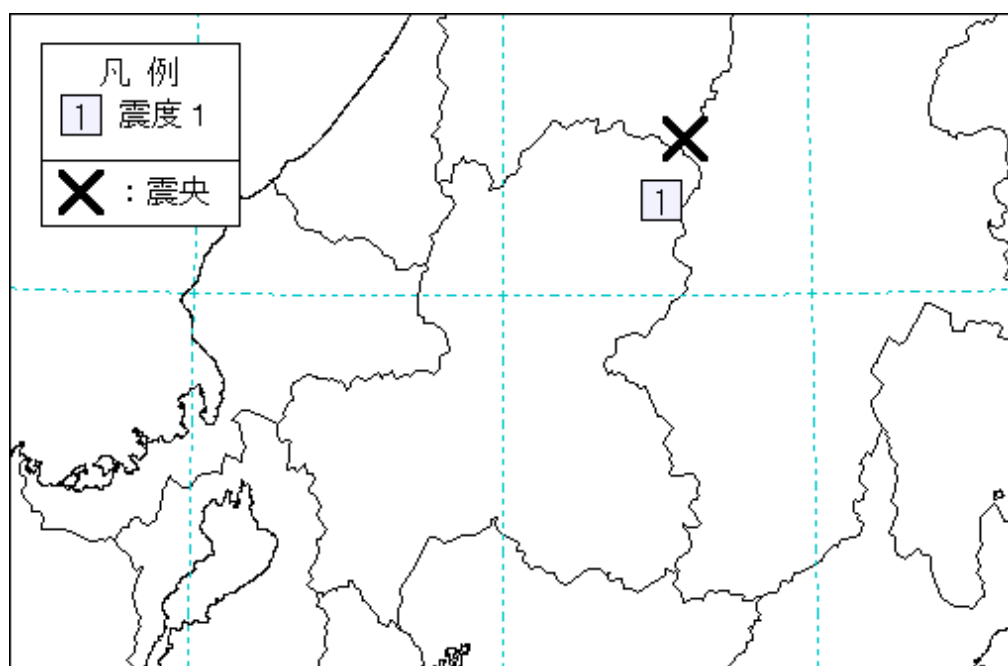
④ 21日 00時 25分 岐阜県美濃中西部の地震(深さ 16km、M2.8)の震度分布図

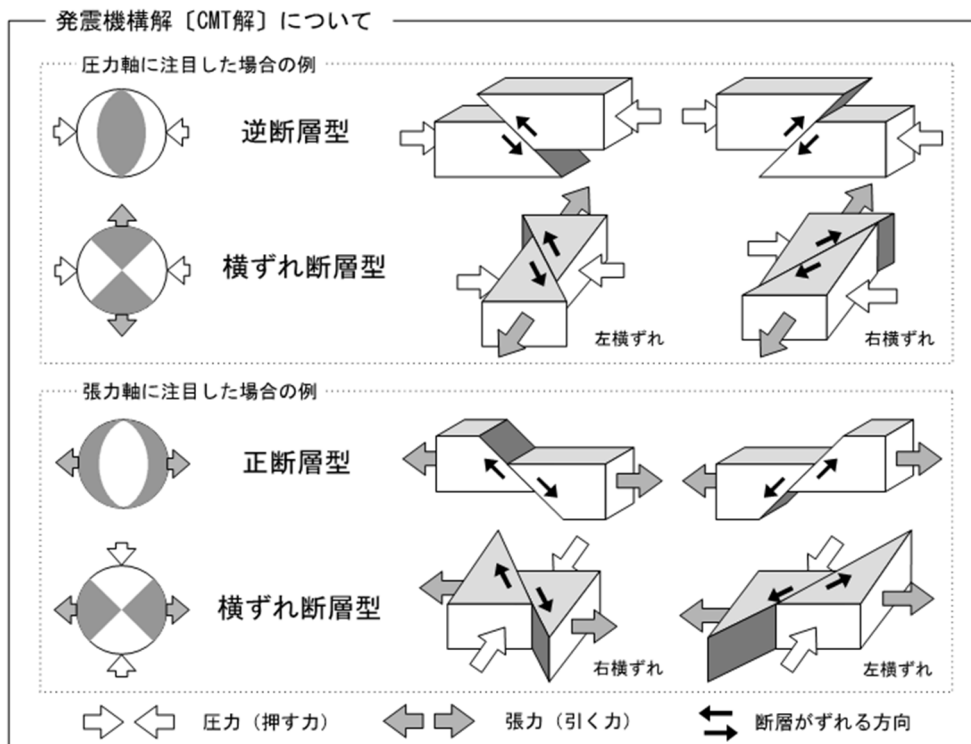


⑤ 26日04時24分 岐阜県飛騨地方の地震(深さ4km、M2.7)の震度分布図



⑥ 29日08時09分 富山県東部の地震(深さ0km、M2.5)の震度分布図





【最近1年間の月別・震度別地震回数】

第2表 岐阜県内で震度1以上を観測した地震の月別・震度別回数表（令和5年8月31日まで）

震度	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	合計
1	3	2	3	0	7	2	4	4	10	10	5	4	54
2	1	0	0	0	0	0	1	3	1	0	1	1	8
3	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	3	0	7	2	5	9	12	10	6	6	66

※過去1年間に、岐阜県内で震度3以上を観測した地震は以下のとおりです。

- ・令和5年4月17日：岐阜県飛騨地方でM3.3の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。
- ・令和5年4月30日：岐阜県美濃東部でM3.7の地震が発生し、下呂市で震度3を観測しました。
- ・令和5年5月5日：能登半島沖でM6.5の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市で震度3を観測しました。
- ・令和5年8月19日：福井県嶺北でM4.3の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・本資料は速報のため、後日の調査により更新されることがあります。
- ・2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。
- ・この資料の問い合わせ先 岐阜地方気象台 防災担当 電話：058-271-4108（平日8:30~17:15）
- ・この地震概況は、岐阜地方気象台ホームページの「岐阜県の地震概況」に、過去の資料とあわせて掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/gifu/shosai/jishin/gaikyo/jishin_gaikyo.html

※南海トラフ地震に関連する情報について

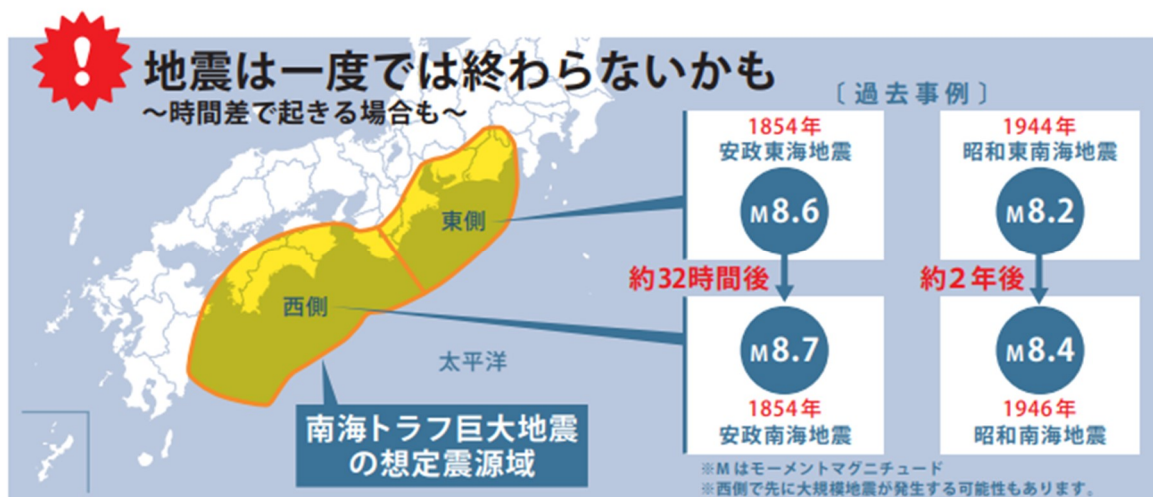
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>

南海トラフ地震とは

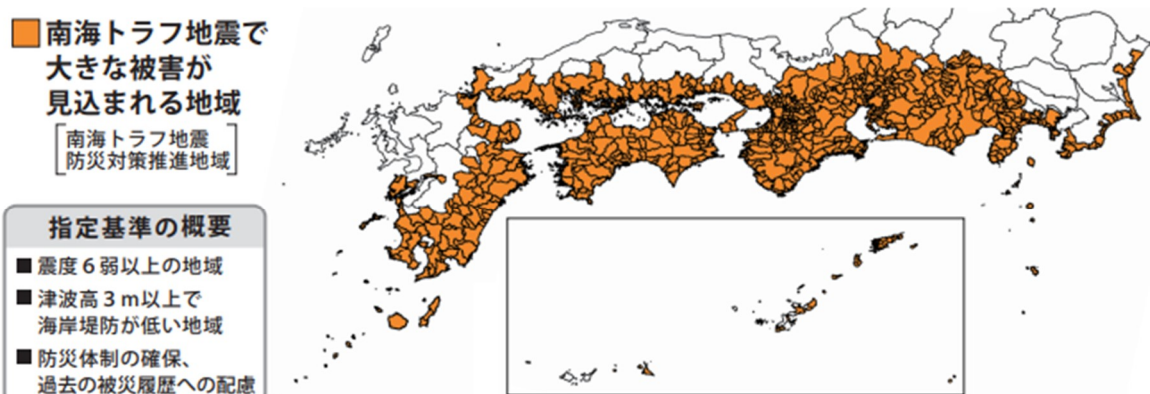
駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。

この南海トラフ沿いのプレート境界を震源とする大規模な地震が「南海トラフ地震」です。南海トラフ地震は、おおむね100～150年間で繰り返し発生していますが、その発生間隔にはばらつきがあり、震源域の広がり方には多様性があることが知られています。

昭和東南海地震及び昭和南海地震が起きてから70年以上が経過しており、南海トラフにおける次の大規模地震発生の可能性が高まってきています。



南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。



南海トラフ地震臨時情報について

気象庁では、令和元年5月から南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合等に、「南海トラフ地震臨時情報」や「南海トラフ地震関連解説情報」の提供を開始しました。

このうち「南海トラフ地震臨時情報」については、情報の受け手が防災対応をイメージし適切に実施できるよう、「巨大地震警戒」等の防災対応等を示すキーワードを以下のように情報名に付記します。

(発表条件)

南海トラフ地震臨時情報

キーワード	調査中
	巨大地震警戒
	巨大地震注意
	調査終了

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
- 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合
- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合
- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

南海トラフ地震関連解説情報

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合には、政府や地方公共団体からの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、本情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。
- 地震発生の可能性が相対的に高まったと評価した場合でも南海トラフ地震が発生しないこともあります。
- 南海トラフ地震の切迫性は高い状態にあり、いつ地震が発生してもおかしくないことに留意が必要です。

気象庁 南海トラフ地震臨時情報

検索



内閣府・気象庁「南海トラフ地震-その時の備え-」
リーフレットより

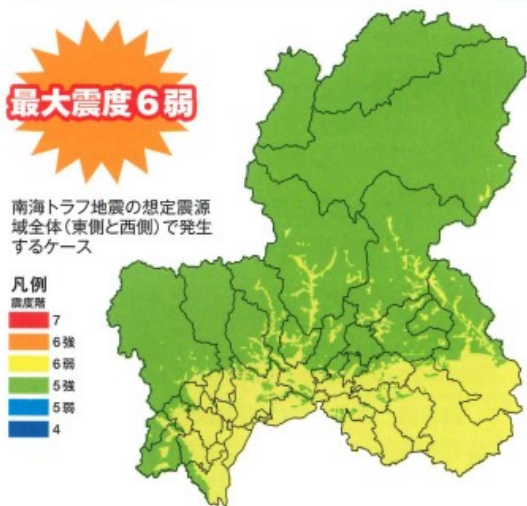
岐阜県内の被害想定と対応

岐阜県では、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合、後発地震に備えて事前に避難すべき地域等を定めています。

- ① 急傾斜地等における土砂災害に備えた避難
最初の地震発生後、原則一週間避難。
- ② 海拔ゼロメートル地帯における堤防沈下による浸水害に備えた避難
堤防沈下によって、河川水の越流により 30cm 以上の浸水が 30 分以内に生じる地域に居住している避難行動支援者は、原則一週間避難。
- ③ 耐震性の不足する住宅の倒壊に備えた避難
できるだけ安全な知人、親せき宅や避難所に避難するなど原則一週間身の安全を取る。

以上が望ましい行動となっています。

南海トラフ地震の県内被害想定



強い揺れが3～4分続くことにより大きな被害が発生する可能性がある。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
35,000	100,000	470	13,000	161,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

岐阜県の南西部は、長良川、木曾川、揖斐川の木曾三川に囲まれた海拔ゼロメートル地帯が広がり、また地盤沈下や液状化などにより、長期間にわたって湛水する可能性があるよ。



気象庁マスコット はれるん

岐阜県「迫る地震に備えましょう」より一部引用